|  |
| --- |
| **１．研究の目的・意義**研究の目的・意義について、課題の内容に照らした問題意識、その課題との関連性並びに人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いを追究する意義を明確にした上で、具体的かつ明確に記述してください。 |

**※１頁程度で記入してください。（上限２頁）**

|  |
| --- |
| **２．研究内容・方法**本プログラムの趣旨及び課題の内容を念頭に置いて、何を、どのような方法を用いて、どこまで明らかにしようとするのかについて、以下の点を含め具体的かつ明確に記述してください。・研究内容は現状の諸課題やそれに対する取組を踏まえながら、解決方策が十分には探究されていない課題、あるいは問題が顕在化していない課題について、未来の国際社会や我が国社会を見据えた長期的な視座が必要なもので、かつ人文学・社会科学が中心となって取り組むことが適当と考えられるものであるか。・どのようなパラダイムの革新や創造を、目指すのか。・課題に対する有意義な応答をどのように社会に提示するのか。・人文学・社会科学に固有の本質的・根源的な問いをどのように追究し、また、どのようにして人文学・社会科学を軸とした新たな学術知を共創するのか。 |

**※２頁程度で記入してください。（上限３頁）**

|  |
| --- |
| **３．研究計画**研究目的を達成するための現時点における具体的な研究計画を記載してください（何をどこまで行うか）。※令和6(2024)年度～令和11(2029)年度の各年度に分けて、記載してください。 |

**※４頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **４．研究成果及び波及効果**提案された研究の実施により期待される研究成果及び波及効果について、以下の点を含め、具体的かつ明確に記述してください。・研究成果のどのような点が先導的であるか。・未来社会が直面するであろう諸問題に係るどのような応答を研究成果として社会に提示するのか。・研究成果の波及効果として人文学・社会科学と自然科学の双方に学術的視野の広がりを有する人材の育成にどれほどの寄与が期待できるのか。・研究成果をどのように公開・普及させるか。・研究成果及びその普及によって、学術や社会の発展への寄与がどの程度期待できるか。 |

**※１頁程度で記入してください。（上限２頁）**

|  |
| --- |
| **５．研究プロジェクトチームの体制**研究プロジェクトチームの組織、研究の分担等を分かりやすく記述してください。※氏名、所属（機関名・部局・職）、専門分野、役割分担、エフォート（国内の研究機関に所属する研究者以外の方は記入不要）、年齢（令和6年7月1日現在）を記入します。（複数の研究グループを設定する場合は、グループごとに記載し、グループリーダーを明記してください。）※記入例【○○○グループ】　　・研究代表者　　　　学振一郎　　◇◇大学・○○学部・教授（○○学）　　【グループリーダー】（エフォート：○○％）（○○歳）　　・研究分担者　　　　学振花子　　□□大学・○○学部・准教授（○○学）　【・・・担当】（エフォート：○○％）（○○歳）　【●●●グループ】　　・研究分担者　　　　学振二郎　　□□大学・○○学部・教授（○○学）　【グループリーダー】（エフォート：○○％）（○○歳）　　・研究分担者　　　　学振三郎　　△△大学・☆☆学部・助教（○○学）　　【・・担当】（エフォート：○○％）（○○歳）　　　・研究参画者　　　　学振五郎　　□□研究所・主任研究員（○○学）（エフォート：○○％）（○○歳） |

（注）採択された場合、「５.研究プロジェクトチームの体制」に記載された情報は振興会ウェブサイト等で公開されます。（ただし、エフォート及び年齢は非公開とします）

**※おおむね２頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **６．研究プロジェクトチームの役割と協働の構造**研究計画を遂行するための研究実施体制の適切性について、研究代表者、研究分担者及び研究参画者の具体的な役割と協働の構造を、研究目的との関連性・必要性を含めて詳しく記述してください。※研究実施体制の多様性が明らかになるように記述してください。また、複数の研究グループを設定する場合は、グループごとの役割及びグループ相互の連携の在り方等についても詳しく記述してください。 |

**※３頁程度で記入してください。**

|  |
| --- |
| **７．研究プロジェクトチーム構成員の略歴情報**研究代表者、研究分担者及び研究参画者の全員の略歴を記載してください。※複数の研究グループを設定する場合は、グループごとに記載してください。（重複者は再掲。） |

<研究代表者>

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏名 | 略歴 |
|  | （最終学歴） |
|  | 1990年3月　○○大学大学院△△研究科　博士前期課程　修了 |
|  | （職歴）1990年4月　○○大学大学院△△研究科　助手　 |
|  | 2000年4月　○○大学大学院△△研究科　助教授　 |
|  | 2005年4月　○○大学大学院△△研究科　准教授　 |
|  | 2020年4月　○○大学大学院△△研究科　教授　 |
|  |  |

〔〇〇〇〇グループ〕

<研究分担者>

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏名 | 略歴 |
|  | （最終学歴） |
|  |  |
|  | （職歴） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

<研究参画者>

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏名 | 略歴 |
|  | （最終学歴） |
|  |  |
|  | （職歴） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| **８．人権の保護及び法令等の遵守への対応**研究計画を遂行するに当たって、社会的コンセンサス（関係者の同意・協力）を得る必要がある研究、個人情報の取扱いに配慮する必要がある研究（個人情報の守秘、人権の保護等）、生命倫理・安全対策に取り組む必要がある研究（ヒトゲノム・遺伝子解析研究、特定胚の取扱いを含む研究、遺伝子組換え実験を含む研究を実施する場合等）、外国為替及び外国貿易法（昭和２４年法律第２２８号）に基づき規制されている技術の非居住者若しくは外国への提供（記録媒体等での持ち出し、電子メールでの送信も含む。）又は貨物の輸出をしようとする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置について記述してください。個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。該当しない場合には、その旨を記述してください。 |

**※１頁以内で記入してください。**

|  |
| --- |
| **９．委託費の配分内訳**【総表】については、e-Rad応募情報に記入している各年度の研究費（直接経費）及び間接経費、合計額を記載してください。また、令和6年度について、研究代表者と各研究分担者に配分する研究費（直接経費）を【令和6年度】の表に記入してください。 |

**※【研究分担者】については全員分の記入が必要となりますので、適宜、行を追加してください。**

【総表】

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 研究費(直接経費) | 使用内訳 | 間接経費 | 合計額 |
| 物品費 | 人件費・謝金 | 旅費 | その他 |
| 令和6年度(7～3月) |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和7年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和8年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和9年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和10年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和11年度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 総　計 |  |  |  |  |  |  |  |

（注）次表における令和６年度の研究代表者及び研究分担者の研究費（直接経費）合計が

本表の令和６年度の研究費（直接経費）の金額と一致するようにしてください。

【令和6年度】

　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属（機関名・部局・職） | 研究費(直接経費) |
| 研究代表者 |  |  |
| 研究分担者 |  |  |
| 研究分担者 |  |  |
| 研究分担者 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合計 |  |

|  |
| --- |
| **10．研究費（直接経費）積算内訳**e-Rad応募情報の研究経費に記入している各年度の研究費（直接経費）の積算内訳を記載してください。間接経費は含めないでください。 |

**※令和６(2024)年度、７(2025)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和６（2024）年度（７月～３月） | 令和７（2025）年度 |
| 物品費 |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |
| 旅費 |  |  |
| その他 |  |  |

【記入例】　※応募書類作成時には本表は削除願います。

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和６（2024）年度（７月～３月） | 令和７（2025）年度 |
| 物品費 | 1. 設備備品費　　　　　　　 200千円

・ノートパソコン（＠100千円×2台）1. 消耗品費　　　　　　　　 300千円

・○○関連図書（100千円）・○○関連資料購入（100千円）・事務用品（100千円）計　　　５００千円 |  |
| 人件費・謝金 | 1. 人件費　　　　　　　　6,000千円

・特任助教（6,000千円×1名）1. 謝金　　　　　　　　　200千円

・△△調査アルバイト（100千円×2名）　　　　　　　　　計　６，２００千円 |  |
| 旅費 | 1. 国内旅費　　　　　　　　　1,000千円

・△△調査等旅費（＠50千円×2人×10回）1. 外国旅費　　　　　　　　 　 800千円

・○○国際学会参加旅費（パリ）（＠200千円×2人×1回)・○○国際研究会参加旅費（ロンドン）（＠400千円×1人×1回） 計　１，８００千円 |  |
| その他 | 1. 外注費　　　　　　　　　〇〇千円

〇〇アンケート調査の実施1. 印刷製本費　　　　　　　○○千円
2. 翻訳経費　　　　　　　○○千円

　　　　　　　　　　　計　　　〇〇〇千円 |  |

**※令和８(2026)年度、９(2027)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（10．研究費（直接経費）積算内訳の続き）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和８（2026）年度 | 令和９（2027）年度 |
| 物品費 |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |
| 旅費 |  |  |
| その他 |  |  |

**※令和10(2028)年度、11(2029)年度の積算内訳を１頁以内で記入してください。**

（10．研究費（直接経費）積算内訳の続き）

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和10（2028）年度 | 令和11（2029）年度 |
| 物品費 |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |
| 旅費 |  |  |
| その他 |  |  |

|  |
| --- |
| **11．研究経費の妥当性・必要性**研究規模、研究実施体制を踏まえ、「10．研究費（直接経費）積算内訳」に記入する研究経費の積算根拠、必要性及びその妥当性について簡潔に記述してください。 |

**※１頁以内で記入してください。**

責任機関情報・研究費の経理管理体制

|  |
| --- |
| **●責任機関情報** |

・機関名：

・代表者氏名・役職（法人の長など）：

・本部所在地：

〒

住所：

|  |
| --- |
| **●経理担当者（例：経理担当部署の係長等）**　※責任機関の事務局で研究費の管理執行を担当する者を、事務局に確認の上、記載してください。 |

・氏名：

・所属部署・役職：

・所在地：

〒

住所

・電話：

・FAX：

・E-mail：

|  |
| --- |
| ●事務担当者連絡先※責任機関の事務局で、振興会との連絡窓口となる担当者を、事務局に確認の上、記載してください。上記の経理管理責任者又は経理担当者と同一の場合は、氏名欄に、「同上」と記載してください。 |

・氏名：

・所属部署・役職：

・所在地：

〒

住所

・電話：

・FAX：

・E-mail：

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業

（学術知共創プログラム）

応募内容提案書（添付ファイル項目）・記入要領

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ●応募内容提案書（添付ファイル項目）の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づき、研究代表者が責任を持って作成してください。**●所定の様式の改変は認めません。**　　ただし文字フォントについては10.5pt～12ptで作成することができます。●日本語でご記入ください。●各様式のページ数、図表使用の可否については下表のとおりです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式 | ページ数 | 図表の使用 |
| 頁数 | 上限 |
| １．研究の目的・意義 | １頁程度 | ２頁 | ○ |
| ２．研究内容・方法 | ２頁程度 | ３頁 | ○ |
| ３．研究計画 | ４頁以内 |  | ○ |
| ４．研究成果及び波及効果 | １頁程度 | ２頁 | ○ |
| ５．研究プロジェクトチームの体制 | ２頁以内 |  | ○ |
| ６．研究プロジェクトチームの役割と協働の構造 | ３頁程度 | 適宜 | ○ |
| ７．研究プロジェクトチーム構成員の略歴情報 | １頁以上 | 適宜 | × |
| ８．人権の保護及び法令等の遵守への対応 | １頁以内 |  | ○ |
| ９．委託費の配分内訳 | １頁以上 | 適宜 | × |
| 10．研究費（直接経費）積算内訳 | ３頁 |  | × |
| 11．研究経費の妥当性・必要性 | １頁以内 |  | × |
| 責任機関情報・研究費の経理管理体制 | １頁 |  | × |

●採択された場合に公開される情報について以下の項目に記載された内容は、採択された場合、振興会ウェブサイト等で公開されます。・「５．研究プロジェクトチームの体制」 |

**任意記載事項**

|  |
| --- |
| **本研究テーマにおける評価の観点（指標）の提案　※審査には使用いたしません。**本事業における研究実践の成果の評価は、「課題設定による人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）研究評価要項」の評価に当たっての着目点に基づき評価を行うことになりますが、本研究テーマの研究成果を最も適切に評価することができると考えられる観点（指標）がありましたら、提案してください。なお、提案された観点（指標）は実際に本研究テーマの研究実践の成果の評価に使用する場合があります。実際に使用するか否かについては採択後に通知します。【留意事項】・本欄は任意記載項目であり、必須記載項目ではありません。・提案された観点（指標）については、客観的に検証できるものとします。 |

**※２頁以内で記入してください。**

補足説明　※応募書類作成時には本記述（灰色の文字の部分）は削除願います。

「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト（審議のまとめ）」（令和３(2021)年１月文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 人文学・社会科学特別委員会）において、「研究実践の成果の評価は、支援期間中に発表した論文や書籍の数などの指標を活用することに加え、例えば、本質的・根源的な問いに対する探究を深めることに進展があったか、パラダイムの革新や創造を目指して取り組んだか、研究者間のネットワークの構築や人文学・社会科学と自然科学の双方に精通する人材育成に寄与したか、国際ネットワークのハブを形成することができたか、など多角的な視点から行うこと」といった指摘がなされ、多角的な視点の一例として「研究者の意欲をより一層高める観点から、研究者自身に評価指標を提案させ、当該指標を活用することも考えられる。」が示されているところです。これを踏まえ、応募者の方から評価の観点（指標）をご提案いただき、評価の際に活用させていただければと考えております。

「課題設定による人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）」研究評価要項（抜粋）

評価に当たっての着目点

1. 研究目的の達成度
2. 研究成果及びその発信・普及
3. 研究実施体制（中間評価時のみ）
4. 委託費の使用